

# 第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】 B球場(松山中央公園南) 第1試合 清風南海中学校(大阪府) VS 池川中学校(高知県)

## 清風南海中 5点差を逆転し前年度覇者を撃破!!

池川中 好守にきびきび、あと一步及ばず!



＜清風南海中 8回裏無死1,2塁から5番壺井の右前安打で、2塁走者川西がサヨナラのホームイン＞



＜池川中 5回表、3番井上匠が右中間に3点本塁打を放ち、5-1とする＞

平成26年8月19日(火)

8:58~11:17

球審:高松 一塁:和田 二塁:緋田 三塁:本田

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
池川中学校(高知県)	0	0	2	0	4	0	0	1		7
清風南海中学校(大阪府)	0	1	0	0	5	0	0	2x		8

【バッテリー】 ＜先攻＞(池) ● 井上 匠, 下本 恭正 - 山中 紫音

＜後攻＞(清) ○ 松本 峻武 - 田中 颯人

【長 打】 ＜本塁打＞ 馬谷 啓汰(清), 井上 匠(池)

＜三塁打＞

＜二塁打＞ 黒川 達也(池), 岡本 拓哉(池), 西田 篤将(清), 馬谷 啓汰(清)

### 【戦 評】

清風南海中は2回、先頭の4番馬谷が左越えに本塁打を放ち、先制。池川中は3回、2死1、2塁から4番黒川が右中間を破る2点タイムリーですかさず逆転。池川中は5回にも3番井上匠の3点本塁打などで4点を追加した。5点を追う清風南海中はすぐにその裏、馬谷らの長短打を集中させ、一挙5点を挙げて同点とする。

延長に入った8回、同点に追いついた清風南海中は、さらに無死1、2塁から5番壺井の右前安打で2塁走者を迎え入れ、サヨナラ勝ち。池川中は終始試合をリードする展開だったが、最後に力尽きた。グラウンドに泣き崩れてうずくまる選手の姿に温かい拍手が続いた。

### 【勝者インタビュー】

#### 監督談

4点を取られた後も、投手が粘り強く投げ、その後のピンチも守り切れたことが勝因。失点後も集中を切らすことなく、気持ちの切り換えもしっかりできたことが決め手となった。普段の練習時間が短く、集中して練習することでここ一番の強さが身につけている。この試合同様、守ってうちの流れに持っていきたい。

#### 主将談

点差が開いた後、あきらめずに粘り強く戦うことができた。ピンチの場面であと一本を打たせず、しっかり守ることができたことが勝因。日頃から点を与えない試合を心がけている。昨年度の優勝校を破ったので、この勢いを生かし、次の試合は0点に抑えて勝ちたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!